



品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	秋田	10月例年より寒い状況で生育kに関しては遅れぎみに推移。10月中旬から出荷になっているが、寒さの影響によりダラダラ出荷となっている。病害虫に関しては被害なく草丈も出荷当初は70cmもあったが現在は80cm中心に推移。	<p><b>現状</b></p> <p>北海道からの出荷がスタートするも例年と比べて短いもの主体となる。山形も同様で、SPについては特に下位等級より出荷開始となる。下旬に向けて出荷量増加。中旬より徐々に気温も下がり、問い合わせが増えた。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 千葉産がSPより出荷スタートする。STIは中旬以降となる。山形は各産地出揃い、上中旬に一度出荷が止まる。葬儀・加工系需要の引き合い主体となる。</p> <p>FAJ 東北中心。出荷数量は昨年並み。やや昨年よりは遅れたタイミングで数量まとまる予想。</p> <p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き 山形・福島からの入荷もやや遅れ気味で潤沢となる。</p> <p>第一花き</p>
	福島	本格出荷開始がやや遅れたが、11月は例年並みの出荷見込み。9月の高温多湿により病害株の発生が見られたが、現在は順調な仕上がり。	
トルコギキョウ	福島	ほぼ切り上がりで、数名の生産者のみの出荷体制。11月上旬以降は、微量程度の出荷量となる。	<p><b>現状</b></p> <p>高冷地の秋田、福島と数量減少、福岡、大分の暖地の増加タイミングが上手く合わず、強めの取引が続いた。特にプライダル、業務関係の顧客より問い合わせ多く、品薄により引き合い強い状況が続いた。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 11月上旬より福岡、静岡、長崎、熊本と西南暖地の主力産地が増えてくるので引き合いは落ち着いてくる見込み。気温もしっかり下がると引き合いも安定、品物もしっかりした物が増えてくる。</p> <p>FAJ 入荷数量横ばい。栃木・熊本中心の入荷。プライダルなどで引き合い強く、高値安定。</p> <p>東日本板橋花き 10月後半から暖地無加温地区中心の入荷になるが、陽気もしまってきている為、それほど増えてこない。</p> <p>世田谷花き 熊本・高知・福岡などから入荷。天候不順の影響で流通量少ない模様。</p> <p>第一花き</p>
バラ	茨城	・出荷ピークは昨年並みの見込み。 ・一部ほ場で病害が発生したが、天候の回復等により問題とならない模様	<p><b>現状</b></p> <p>天候不順の為、品薄状況が続く相場の乱高下が少なく、安定した価格での取引となった。中旬以降やや入荷量は回復するが、引き合いに対し入荷量が足りない状況が続く。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 上旬は昨年同様の入荷見込みだが、中旬～下旬にかけて品薄感がでる可能性がある。高冷地から暖地に切り替わり、入荷量も暖地は増加する。</p> <p>FAJ 引き続き宴会需要中心に安定した相場での取引続く。茨城・栃木・静岡など西南暖地が主体に。</p> <p>東日本板橋花き 天候不順の影響はしばらく続く、各産地大きなピークは無く横ばいの入荷量の見込み。婚礼等業務中心の動き。</p> <p>世田谷花き 11月中旬より安定した入荷が見込める。引き続き婚礼中心の動き。</p> <p>第一花き</p>
	山梨	病気の発生が見られるが、生育は全体的に順調である。生育は順調で昨年と同じ。	